



ゆりのき

港区立赤坂中学校
学校だより 12月号
令和元年 12月2日

赤坂中学校教育目標

- ・「まなび」を大切にする
- ・「いのち」を大切にする
- ・「ところ」を大切にする
- ・「とき」を大切にする

MINATO シティーフーフマラソンに参加して 校長 高松 政則

12月1日、MINATO シティーフーフマラソン2019が開催されました。とても寒い日が続いていましたが、昨日は12月というのにとっても暖かく、絶好のマラソン日和となりました。会場となった増上寺付近は選手や応援の方で混雑をしていましたが、多くのボランティアの皆さんが協力してくださったことで、スムーズに運営できていたようです。そのボランティアの中に、本校から2名の通訳係、9名の給水係として、11名もの生徒が参加をしてくれました。ありがとうございました。

さて、その大会には本校から小島先生、阿部副校長、私の3名がエントリーしました。出場が決まった夏から練習をはじめ、毎日10キロの練習をした私は何と9月初旬に足を痛め、当日まで練習なしのぶっつけ本番という状況で参加することとなりました。完走は難しいなと思いながら、何とか生徒たちがいる7キロ地点の給水所までは頑張ろうと思い、走り出しました。決して無理をしないようマイペースでゆっくり走り出し、何とか7キロ地点に到着。生徒たちの声援で元気が出たのか、その後も同じペースで走り、無事に完走することができました。しかし、練習ができていないため途中から徐々に足が痛くなり始め、折り返し過ぎたあたりでは、「もうだめだ、歩こう」「棄権しよう」と頭の中で弱気なことを考えはじめました。でも、そんなときに沿道から一般の方や、赤坂の地域の方々、生徒たちからのたくさんの応援もあり、何とか歩かずに2時間半の制限時間内で走り通すことができました。普段から練習を積んでいる小島先生、阿部副校長はもちろん余裕の2時間切りでした。ゴール後は、普段使わない筋肉を使ったため、筋肉痛で歩くのもつらかったのですが、たくさんの方々から「お疲れ様」と声を掛けられ、うれしい気持ちと、ゴールした喜びで清々しい気持ちになりました。

今回、走りながらいろいろなことを考えました。つらくて何度もあきらめようと思ったとき、一人で走っていたらおそらく途中でやめてしまったかもしれない時、応援してくれる人がいたことで最後まで走りきれたこと。また、どんどん後ろから抜かれていく中で、明らかに私より年上であろう方々の走りを見て、日々の練習の積み重ねが大切であること。人と比べずに自分のペースであきらめずに頑張ればゴールできることなど、たくさんのことを21キロの中で考えました。

3年生はいよいよ受験が迫ってきました。これから受験までの期間は、焦らず、人と比べず、自分のペースで、自分を信じて努力を続けることが大切です。そして、何より大切なのは、応援です。つらいこともみんなの応援があれば乗り越えられると今回のマラソンを通してあらためて感じました。一人ひとりがクラスの皆を応援し、全員が希望を叶えてくれることを願っています。

今年も様々な出来事があった一年でしたが、おかげさまで赤坂中学校では無事に一年を終えることができそうです。13日間の休みですが、体調に注意しながら有意義な冬休みにして欲しいと思います。

本年も教育活動にご理解・ご協力をいただきましてありがとうございました。

月行事予定

1日(日) 休業日 MINATO シティハーフマラソン (ボランティア 11名)	9日(月) 振替休業日 子どもサミット(生徒会役員より2名参加)
2日(月) 朝礼	12日(木) 専門委員会
2日(月)～4日(水)、6日(金)、10日(火)三者面談	13日(金) 中央委員会
6日(金) 区音楽鑑賞教室(3年)[サントリーホール]	24日(火) 大掃除
7日(土) 地域合同防災訓練(いも煮会)	25日(水) 終業式

12月の生活目標 「2学期を振り返ろう」

○2学期の反省をして、冬休みの目標と計画を立てよう。 ○整理整頓に努めよう。

セーフティ教室 (11/11)

東京税関大井出張所と麻薬探知犬訓練センター室の方に来ていただき、「税関の仕事」「麻薬の恐ろしさと税関の役割」についてお話が聞きました。麻薬探知犬によるデモンストレーション(麻薬の臭いをしみ込ませた荷物を見つける)も行いました。また、赤坂警察署スクールサポーターからも「麻薬の体への害」「医師が処方した薬でも量や時間を守ることが大切である」「薬を他人へあげたり、もらったりすることの危険性」などについて話をしてもらいました。



(生徒の感想文より<一部抜粋>)

○「薬物」というのは一種類しかないと思っていたけれど、いろいろな種類があり様々な特徴があることを知りました。「薬物」には依存性があり、止めたくても止められず、一度使用したら繰り返し使ってしまう恐ろしいものということが分かりました。しかも、最悪の場合死に至ることもあると聞いて、本当に恐ろしいものなのだなと思いました。

○税関の方はいつも気を引き締めて日本、世界を守ろうとしていてすごいなと思いました。他にも様々なことを学びました。このセーフティ教室で学んだことをこれからに生かし、自分の命を守るように誘われても断るという気持ちをもっていきたいです。

○不正薬物と聞くと「危ない」や「手を出してはいけない」というイメージがあります。ただ、私たちの身近なところにも潜んでいる可能性があると感じたとき、とても不安になりました。例えば、自分の友達や信頼している人から誘われたり、ちょっとした自分の好奇心があつたりしたとき、私は絶対にやらないと決意があつて断れるかなど不安になりました。だから、普段から「絶対にやらない」という思いをもつていようと改めて思いました。自分の何気ない大切な日々を守るために、自分の行動が合っているのか考えていきたいと思えます。また、税関についても私の知らないことだらけで勉強になりました。「税」についての仕事と「関」についての仕事、どちらにも興味をもちました。…講演の中で、「税」⇒関税について「関(せき)⇒主に密輸が行われていないか調べるの2つの仕事を担っていると説明を受けました。

【活躍する赤中生！】

税についての作文

(港区教育委員会賞) _____ (麻布納税貯蓄組合連合会優秀賞) _____

税の標語 (港都税事務所長賞) _____

社会を明るくする運動作文コンテスト (更生保護法人東京都更生保護協会理事長賞) _____